



三春中学校だより

第66号総集編

発行日 令和2年3月30日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【『歩み』を積み重ねて！～今年も胡蝶蘭の花芽の時がきました。～】

さまざまな『歩み』を重ねつつ、子どもたちも先生方も、“共に”成長してまいりました。その大切な学びを振り返り、心にとどめ、新たな希望あふれる『令和2年度』を迎えたいと思います。

【新年度を迎え、意欲的に取り組んでいます！～胡蝶蘭にも花芽がつけました。～】

平成31年度、5月には元号が「令和」となり、改元という歴史的な出来事を経験しつつ、4月8日（月）には入学式を迎えます。新年度を迎え、子どもたちはそれぞれの活動に意欲的に取り組んでいます。校庭では特設陸上部が早くも田村支部陸上競技大会にむけて練習を積み重ねています。3階からは早朝から合唱部の子どもたちの歌声が聞こえてきます。校長室の胡蝶蘭も一生懸命きれいな花を咲かそうと過酷な環境の中にありながら花芽を3つ出しました。いよいよ始まる新年度。こどもたちのがんばりにますます期待が高まります。応援をお願いいたします。



【平成31年度三春中学校着任式！～10名が仲間に加わりました。～】



4月1日付で8名の教職員、2名の町職員が三春中学校に着任し、平成31年度の始業式に先立ち、着任式を実施しました。開校7年目、平成31年度の三春中学校を迎えるにあたっては、教育目標やめざす生徒像そのものの見直し作業から教育課程編成が始まりました。開校当時の先生方が次第に学校を離れ少なくなった今、7年目の三春中学校には何が大切かという新たな視点で、前例踏襲を廃し、『生徒の実態に応じ、生徒のために』という原点に立ち返った三春中学校づくりに取り組んでまいります。そのためには、教職員間での『連携・コミュニケーション』が必要であるということ年度当初に強く確認いたしました。

【今年度も注目してまいります！～清掃、奉仕的活動、人の心がその人を行動させます。～】

『一事が万事』という言葉があります。すべての行動は、その人の考え方や価値観を基準に決定されます。始業式・入学式の日から、生徒会役員の生徒さんは校旗掲揚のため、早朝から掲揚台にいました。生徒昇降口のインフォメーションコーナーのホワイトボードには、新生活で疲れているであろう仲間を気遣う言葉がありました。雪の降った朝には、登校するなり雪かきをもってたくさんの生徒のみなさんが後から登校してくる仲間のために通路をきれいにしていました。そんな中、1年生の女子が校門近くで雪かきをしている私のところに歩み寄ってきて、「ありがとうございました。」との一言。入学式で、『その一言』を大切にしようというお話をしましたが、“みんなのために雪かきしてくれてありがとうございます。”という意味なのでしょう。スタートは順調です。一人ひとりの心の中に、正しい判断力、優しさ、感謝、思いやり、行動する意思などが強く感じられる言動が随所に見られ、感じられるからです。



【第1回学校運営協議会開催！～地域と共にある学校づくりをめざして。～】



4月19日（金）に、本年度第1回の学校運営協議会を開催いたしました。2年間の委嘱状交付の後、組織編成、学校の概要説明、お集まりいただいた委員のみなさまよりのご意見・ご要望など、昨年度にもまして有意義活質の高い話し合いとなりました。何より第1回の参加率が、昨年度56%だったのに対し、本年度は95%のご出席率でした。三春中学校学校運営協議会会則の第2条（目的）には、『…一体となって学校運営の円滑な維持・改善のもと、生徒の健全育成に取り組む…』とあります。本年度予定の4回の学校運営協議会を柱に、地域づくり、三春中学校づくりに取り組んでまいります。

【田村地方PTA連合会総会！～新会長に本校PTA会長様選出～】

4月25日（木）の夕方に、平成31年度の田村地方PTA連合会総会が、田村市船引公民館において行われ、新PTA会長様が平成31年度・令和元年度の田村地方PTA連合会会長に決定いたしました。ちなみに、事務局は会長校におくこととなり、三春中学校が事務局校ともなりました。三春中学校のPTA会長様としてお努めいただくと共に、田村市、小野町、三春町の全PTAをまとめていくお仕事はなかなかたい



へんなこととは思いますが、そこは、新会長様の人望と能力で見事やりきっていただけるものと確信いたします。よろしくお願いいたします。

【季節は移ろい、成長を実感！～三春中学校だからできる質の高い教育を子どもたちに。～】



福寿草、梅、桜、芝桜、胡蝶蘭、そして名前のわからない花々。厳しい寒さを乗り越え、生命がその息吹を再び感じる季節となりました。校舎の外にもさまざまな花が見られ、それと同じように、その中で活動する子どもたちも、輝きの時を迎えています。学校は年度末、年度はじめの1年で最も慌ただしい時期を過ぎ、学習に、部活動に、中体連の各種大会にと、これまでの積み重ねの成果を発揮できる季節を迎えています。目の前のとりあえずやらなくてはならない事柄に翻弄されることなく、子どもたちの教育の充実に努めてまいりました。子どもたちはすくすくと確かな成長を見せています。『命を大切に』『学びの環境づくりを』

『その一言を大切に』という3つの集団生活のルールを子どもたちはしっかり守って生活できています。素晴らしい子どもたちだからこそ、これからも、『命を大切に』質の高い『学びの環境』の中で、『その一言』を意識して発し、三春中学校らしい質の高い教育を心がけてまいります。

【元号が改まりました！～平成から令和へ。引き続き、よろしくお願いいたします。～】

連休中の5月1日（水）、校庭の掲揚台には、校旗と国旗がはためいていました。元号が平成から令和に改まりました。“人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ”という意味が込められた、日本最古の歌集である万葉集からの引用だそうです。その歌数4,500余首、天皇から防人、農民まで、さまざまな人々の声を大切にした歌集からの出典は、これまでも、そして、これからも、国民一人ひとりのさまざまな声を大切にしていこうという民主主義国家日本の精神を大切にしたものなのではないでしょうか。内閣総理大臣談話の中に、「悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然。こうした日本の国柄を、しっかりと次の時代へと引き継いでいく。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が、明日への希望と共に、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたい、との願いを込め、『令和』に決定いたしました。文化を育み、自然の美しさを愛でることができる平和の日々に、心から感謝の念を抱きながら、希望に満ちあふれた新しい時代を、国民のみならず共に切り拓いていく」という記述どおりの三春中学校となるよう努めます。



【田村支部中体連総合大会・県中水泳大会激励会！～三春中学校代表として～】

5月27日（月）、本校体育館において、田村支部中体連総合大会・県中水泳大会の激励会を実施しました。これまでたくさんの時間とエネルギーを傾けて取り組んできた部活動。その大きな節目となる大会への激励会でした。各部活動・競技ごとにステージ上であいさつする各競技の選手の面々は、在校生、生徒会長、応援団の激励を胸に、大会当日の大活躍を心に誓っているように写りました。勝負には勝ち負けはつきものですが、部活動は勝ち負けだけではなく、競技をとおした人間教育の部分も大いにその役割として存在します。あいさつ、礼儀、思いやり、我慢、粘り強さ、ひたむきさ、協力、諦めない心など、まだまだたくさんのことを、選手たちは、顧問の先生と共に学んできました。今大会が次へとつながると共に、選手一人ひとりの心にかけてあげられないものを育み、確かなものとなってくれることを願ってやみません。



【『忠恕』の心！～うれしいとき、悲しいとき、辛いとき、そこには友がいました。～】

県中地区の各会場で熱戦が繰り広げられました。県中大会ソフトボール競技は須賀川市で行われ、がんばっている選手のみなさんや顧問の先生方の姿を一目見たいと訪れたときのことでした。さすがに準決勝ともなると強豪校が勝ち上がってきて、本校ソフトボール部であっても苦戦を強いられていました。相手の攻撃を何とか押し返しベンチに戻った我がソフトボール部のベンチ裏で、まさに、三春中学校で学んでいる選手らしい光景を目撃することができました。なかなか思い通りに行かない選手をチームメイトが声をかけたり肩を叩いたりし、（大丈夫だよ。あなたは一人じゃないよ。一緒にがんばろうね。）と励ましてあげていました。スポーツっていいな。仲間っていいな。三春中学校の生徒たちっていいなと心から思いました。



【為すべきことに心を込めて！～自分、学校をきちんと見つめます。～】

学校を回って歩く際、注目点の一つとしていつも心にとどめていることがあります。階段の角にたまった綿ゴミと雑巾がけにかけられた雑巾の姿です。階段の角はほうきでホコリをとるのが難しい場所です。汚れた雑巾はできればすぐに手から離したいものでもあります。この日も子どもたちの健康状態や落ち着き具合を見る傍らで、階段や雑巾がけに注目しつつ校舎内を巡って歩いていました。下の写真をご覧ください。階段が光っていました。雑巾がきれいに洗われて重なることなく雑巾がけ



にかけられていました。中大会、職場体験、高校体験入学準備など、校内外にさまざまな活動・行事が目白押しの中、子どもたちは先生方と共に落ち着いた生活、きちんとした生活を送ることができています。今為すべきことを一人ひとりが考えながら、学校全体で落ち着いた生活を送ることができる三春中学校をこれからも続けていかなければならないと強く感じました。

【朝食を見直そう週間運動実施！～よりよく食べることはよりよく生きること～】



6月3日（月）～7日（金）の1週間、『朝食を見直そう週間運動』を実施しました。“食に関する正しい理解と関心を高め、生活リズムを改善し、食事摂取を基本とした望ましい食習慣の形成を図る”というねらいのもと、県作成『自分手帳』を活用したり給食委員会によりポスターを作成したりなどしました。本校が本格的に『食育』に取り組んでから5年。今年度の1年生の朝食摂取率は“過去最高”だそうですが、残念ながら、“まったく食べない”“週の半分以上食べない”と回答した生徒も少数ながら存在しました。1日の中での『朝食』の大切さについては小学校からずっと学んできていることでもあります。朝食は、食べると、『脳

のスイッチ』『体にスイッチ』『おなかにスイッチ』だそうです。朝の脳は栄養失調状態でもあるそうです。感謝の心をもって、可能な限り家族と共に、バランスのよい食事を、よく噛んでいただくこと。本校の『食育』は小学校の『食育』を引き継ぎ、中学1年生から学んでいます。

【生き方学習！～広い視野、多様な視点をもって自らの進路について考えよう。～】

6月10日（月）の5・6校時に、第3学年において、生き方学習『持続可能な社会の実現をめざして』というタイトルで総合的な学習の時間の活動に取り組みました。当日は、二本松にある二本松青年海外協力隊訓練所（JICA二本松）から2名の講師の先生をお招きし、国連で話し合われた『持続可能な社会の達成目標』（SDGs）17の目標にたどり着くためのさまざまなワークショップが、楽しく和気藹々の雰囲気の中で実施されました。『17の目標』とは、①貧困をなくすこと ②飢餓をなくすこと ③健康であること ④質の高い教育 ⑤ジェンダーの平等 ⑥清潔な水と衛生 ⑦再生可能エネルギー ⑧適切なよい仕事と経済成長 ⑨新しい技術とインフラ ⑩不平等を減らすこと ⑪持続可能なまちと地域社会 ⑫責任をもって生産し消費すること ⑬気候変動への対策 ⑭海の命を守ること ⑮陸の命を守ること ⑯平和で公正な社会 ⑰目標のために協力することの17の目標だそうです。世界のみんなが自らの責任と役割を自覚し、平和な世界が実現・持続できるよう、それぞれの場所で“一所懸命”17の目標の実現をめざしましょう。



【今年も田村高校生と交流！～新体力テストのお手伝い、そして、集団行動披露～】



6月18日（火）の2～4校時に新体力テストを実施しました。東日本大震災・原発事故後の健康維持にむけ特に注目される新体力テスト。前回記録の更新をめざすなどそれぞれの種目に真剣に取り組みました。それをお手伝いいただいたり記録アップのアドバイスをしてくれたりしたのが田村高校体育科の2年生。体育館ステージ上であいさつをいただいた後、各種目・各会場に分かれてお手伝いをいただきました。

立派な体格、鍛え上げられた身体を前に、中学生たちも種目に熱が入りました。もう一つ圧巻だったのが最後に披露いただいた体育科名物“集団行動”。「ウォー。」という歓声が幾度も聞かれ、一糸乱れぬ美しさに感動する表情が印象的でした。自分の限界に挑戦する姿勢がととてもすてきでしたし、地元の高校生との交流もまた楽しいものとなった新体力テストでした。

【“具体的な連携”を小・中で！～『三春中学校区生徒指導単位部会』を開催しました。～】

6月26日（水）の午後、三春中学校において、『三春中学校区生徒指導単位部会』という会合を行いました。三春・御木沢・中妻・中郷・沢石・要田の三春中学校で学ぶ生徒の出身小学校6校の先生方と中学校の教員が、中学校の授業等をもとに、小・中の生徒指導面での具体的な連携の在り方について話し合う機会でした。小学校と中学校の9ヶ年を見通した教育の展開は以前より大切なこととして考えられてきた事柄でした。県内には、小中一貫校や義務教育学校が次々と設置され、これまで以上に充実した教育の機会を準備しようと計画・実施されています。三春中学校区においても、9ヶ年を見通し、子どもたちに同じ方向性をもって指導にあたり、繰り返しと積み重ねを大切に、児童生徒にわかりやすい、一貫した教育を展開していこうという取組の一つです。『生徒指導』『学習指導』『特別支援教育』『養護教諭』の4部会を設定し、それぞれの部会で小・中の具体的な連携について協議・決定しました。



【心肺蘇生法講習会、全学年で実施！～自らの命は自ら守る。みんなを守る。～】

6月25日（火）・26日（水）・27日（木）と3日連続で、日本赤十字社福島支部より講師をお二人ずつお招きし、学年ごとに『救命救急法講習会』を実施しました。安全・安心な学校は教育



の土台・基本でなくてはならないという考えのもと、いかなる場や時間においても、命を守る術は身につけておかなければなりません。“いざというとき”のために訓練は必ず必要です。気道確保、胸骨圧迫、人工呼吸などの救命救急法を3年生はこれで3年間学ぶこととなります。注意は払っているとはいうものの、登下校時、部活動中、休み時間での事故など、いつ何時、緊急事態が生じたとしても、備えさえあれば被害を防いだり最小限に抑えたりすることも可能です。使わないですむことがいちばんですが、“いざというとき”のために、そして、安全・安心な学校づくりを常に心がけ、怠らずに教育活動にあたってまいります。

【『歯の健康』！～歯科衛生士さんとともに口腔内の健康について学びました。～】

6月4日(火)の5・6校時、ちょうどその日は虫歯予防の日でした。第1学年の総合的な学習の時間として、健康学習『歯の健康』という学習を行いました。町から2名の歯科衛生士さんを講師にお迎えし、担任の先生とのT・T指導にあたっていただきました。自分の虫歯や口の中の状況について理解し、歯科受診について考えるとともに、日頃の“しっかり噛む”ことの意義、歯周病や正しいブラッシングの在り方などについて学ぶことをねらいとしました。『食べることは生きること』、『よりよく食べることはよりよく生きることにつながる』という思いをもって取り組んでいる本校の『食育』。その“食べること”の最初が口腔内です。心安らかに楽しく、しっかり噛んでいただく食事は、よりよく生きていくことに直結します。



【『社会を明るくする運動』本校で実施！～あいさつが人と人をつなぐ。～】



7月9日(火)の早朝、昇降口前の広場には、黄色いはっぴ姿のみなさんと田村警察署のみなさんが『V』の字型に展開し、登校してくる子どもたちを昇降口に追い込むような形にみえました。毎年おいでいただいている方が多かったのですが、子どもたちにとってはそれほどなじみのない方々だったはずですが、あまりなじみのない人同士でも笑顔を誘ってくれるあいさつ。あいさつは人と人をつなげるとても便利なツールであります。「やたら声かけをすると不審者と思われてしまう。」という大人の声も聞かれますが、いつでも、どこでも、笑顔であいさつを交わすことのできる地域づくりを切に望みます。

【こころ一つに！～仲間と共にあることの喜びを心に、6分間の演奏に取り組みました。～】

7月12日(金)は、第57回福島県吹奏楽コンクール第37回県南支部大会の日でした。これまで積み上げてきた練習の成果を発揮すべく、学校で練習や最終調整に臨んだ後、郡山市民文化センターに出発しました。出発前のあいさつでは、個人のパートの演奏をがんばることはもちろんですが、一緒に練習に取り組んできた仲間と共にあること、こころ一つに演奏することをぜひとも心がけるよう吹奏楽部の子どもたちには伝えました。会場にはご家族のみなさんもおおぜいお越しになり、吹奏楽部の部員たちの演奏を応援して下さっていました。部員のみなさんの感想は聞くことができませんでしたが、帰り際、ご家族や保護者会長さんとお話する機会もありました。その演奏はたったの6分間でしたが、ご家族のみなさんにも私にも、優しくて温かくて、とてもよい音のように聞こえました。



【命のかけがえのなさを心に！～性感染症予防について学びました。～】



命輝く夏を間近に控え、かけがえのない自分の命、相手の命を守るためには、どんなことを心がけ、どう生活し、生きていったらいいのかについて改めて学び、確認しておかなければなりません。7月19日(金)に、第3学年において、「性感染症予防講座」を実施しました。校外より助産師さんをお迎えし、命がこの世に生まれたときのお母さんの喜びや感謝などからお話をはじめられ、かけがえのない大切な命、そして、自他の体を守る意識と態度の大切さをお話いただきました。CGに勢揃いした3年生と同じ目線でお話いただく助産師さんの一つ一つのスライドに子どもたちは真剣に目と心をむけ、夏休みの生活への心構えとしていました。

【環境整備作業ありがとう！～学びの環境が整いました。～】

8月4日(日)の早朝7時から令和元年度のPTA環境整備作業が行われました。お休み、そしてたいへん蒸し暑い早朝にお集まりいただきありがとうございます。

厚生委員長様と学校の厚生委員会担当の先生の段取りのもと、CGで全体会を開いた後、各担当に分かれて作業開始となりました。その間、厚生委員長さんに“東奔西走”していただいた結果、円滑な作業の進行と事故防止に努めつつ作業にあたることができました。



整った環境はそれ自体勉強や生活への意欲づけの土台ともなります。きれいな窓、除草された植え込み、クロカンコースまで整備いただきました。本当にありがとうございました。

【中学生も地域の一員として！～盆踊りの校外補導、ご協力ありがとうございました。～】

お盆の13日、14日、15・16日と、夏休みの校外補導後半の部が実施されました。13日(火)は要田地区、14日(水)は沢石地区、15日(木)・16日(金)は三春地区の盆踊りでした。煌々と輝く月が出る中、自宅を出発して要田地区に向かうと、すでに盆踊り子どもの部は最高潮で、やぐらの上では本校の生徒たちが太鼓やお囃子を担当し、それに合わせて広場では踊りの輪ができていました。少し早く着いたため待ち合わせ場所で待っているとお母さんに声をかけられ一安心。その後集まってこられたみんなと一緒に周辺を一回りしました。お盆のさ中、各地区の校外補導にご協力をいただいた保護者のみなさん、先生方、ありがとうございました。各地区での子どもたちのがんばりをこの目で確認することができた楽しい3日間でした。各地区におかれましては、子どもたちの健全育成にご理解・ご協力をいただき、「共に」、補導活動にあられたこと、中学生を地域の一員としてご指導・ご支援いただいたことに重ねて心より感謝いたします。



【命を守る！～もしもの時のために、救助袋を使ってみました。～】

8月23日(金)に、田村消防署三春分署、三春町役場、消防設備管理会社のみなさんにおいていただき、救助袋や消火栓の使用法に関する研修会を行いました。3階の家庭科室・技術科室間のテラスに設置してある救助袋を校庭まで下ろすと竜が天に昇るような筒状の姿。そこを実際に3階から滑り降りました。その後、CGの室内消火栓を引き出しての操作法の研修も行いました。10月27日(日)に実施される町防災訓練にも参加予定です。いざという時のための日頃の備えを大切にいたします。



【厳しい練習に耐えて！～かけがえのない宝物を胸に抱いて。～】



8月30日(金)、田村地区内の9中学校から、鍛え抜かれたランナーが田村市陸上競技場に集合しました。第61回田村支部中学校駅伝競走大会・第32回田村支部中学校女子駅伝大会の日でした。女子は10:00のスタートでした。三春町の鈴木町長様のピストルの合図でスタート。時折、雨が激しく降る中を、それぞれのチームの選手たちは力強い走りを見せてくれました。男子のスタートは11:20で、スターターは、永年、田村支部の陸上競技の専門委員長として尽力くださった船引中の先生が務めました。三春中だけではありませんでしたが、3年生はもちろんのこと、1・2年生も選手として堂々の走りを見せてくれました。三春中は例年は男女2チームずつの出場でしたが、本年度は各1チームずつの精鋭と指導の先生方での大会参加となりました。夏の酷暑の中の練習はとても辛いものがありましたが、その取組を通して、がんばる力、粘り強く物事に取り組む力、チームの一員としての在り方、襷をつなごうとする責任感、やり遂げた後の充実感・満足感など、駅伝部のメンバー一人ひとりの心の中には、がんばったからこそ得られた、本当に『かけがえのないもの』が育ったことと確信いたします。よくがんばりました。

【心を込めて演奏しました！～これまでの歩みに感謝して練習し、歌い、演奏しました。～】

9月16日(日)は、三春地区の敬老会の日でした。わが三春中合唱部と吹奏楽部が演奏の機会を得て、まほらにお集まりのみなさんを前に、一生懸命、心のこもった歌声、音色を響かせました。学校での練習に取り組む姿は真剣な中にも和やかな温かい雰囲気がありました。CGに置かれたピアノを中心に、円く輪を描いて練習する姿を放送室前のベンチに腰掛けて歌声を聞きながら、音楽ってすばらしいなあと再確認しました。敬老会当日は、顧問2名の引率のもとでの参加でした。9:30からのオープニングに登場したのは合唱部の面々。曲は、『365日の紙飛行機』。大切なものは、どうなったかという結果ではなくどう生きたかというその過程ではないかという意味の歌詞は、心にぐっとくるものがありました。



【幸せになるために！～自身を知り、食を知り、健康な生活をおくることをめざします。～】

9月19日(木)に、1～3年生までの三春中全生徒がコミュニティーガーデン(CG)において、体組成計による測定を行いました。また、今年度は、測定だけではなく、健康や食に関する講話の時間も設定し、自分自身の体について知ると共に、健康につながる食の仕組みやその在り方についても学びました。昨年度の食育公開授業研究会の際にご講演いただいた郡山女子大学准教授の亀田明美先生からの「何のための食育ですか？」の問いの答え＝「幸せになるために」を目標に、まずは、自分自身の体の特性や現状を知ること、そこをスタート点として、今、そ



して、将来にわたって健康で幸せに暮らすために、何をどうすることが幸せにつながっていくのかを、『食』の観点から探っていこう、考えていこうという学習です。

【創り上げる『命の輝き』！～限られた時間の中、共に、ひたむきに、こころ豊かに。～】

お昼休み、開かれた校長室の扉から歌声が聞こえてきます。三春中学校文化祭『HARU FES』の合唱コンクールにむけた練習がコミュニティガーデン（CG）と体育館で始まりました。あと3週間をかけて、自分たちが選んで合唱曲を仕上げ、本番に臨みます。その練習態度には真剣さと楽しさの両方が感じられます。コンクールで最高の演奏を披露しよう、友達と共有できるこの時間を大切にしようという姿です。10月19日（土）までわずかの時間ではありますが、短期集中で取り組み、すばらしい成果を披露していただきたいと思います。HARU FESテーマ『Be proud of…～新たな伝統を～』どおり、今の三春中学校の生徒さんにしかできない取組を見せ、テーマが実現されることを心より願います。



【『ダメッ。ゼッタイ。』～福島空港税関職員を講師に薬物乱用防止教室を開催しました。～】



10月1日（火）の4校時、本校体育館において、薬物乱用防止教室を開催しました。例年、警察の方からのご講演をとおして薬物の怖さを学ぶことから薬物乱用防止の意識の向上をめざしましたが、今年度は、横浜税関小名浜税関支署福島空港出張所より所長さんと監視官さんのお二人の講師の先生をお迎えし、通関業務のお話や不法薬物に関する説明などとおして薬物乱用防止に関する啓発活動・指導に取り組んでいただきました。最後の代表生徒さんのお礼の言葉の中には、ご講演に対する感謝の気持ちと共に、常習性を伴う不法薬物にはゼッタイ関わらないという思いがしっかりと込められていました。

【全校絵を描く会を実施しました！～思い思いの場所で表現しました。～】

10月9日（水）、校舎の内外を会場に、『全校絵を描く会』を実施しました。夏休み前からお世話になっている美術科の角先生のご指導の下での取組でした。当日は、体育館での全体指導の後、田村地区内からお借りした図画板を持って思い思いの場所へ移動し、風景や体の部分、文房具や部活動で使用する物品など、自分が描きたいと思う対象と向かい合いました。できあがった作品は、校長、教頭、教務で審査し、文化祭の展示の一つとして掲示させていただきました。晴れてはいましたが、風があり少し肌寒い日で、外で写生をしていた子どもたちは、日陰と日向を行き来しながら絵筆をとっていました。美術に親しむよい機会となったようです。



【これからもすばらしい演奏を！～吹奏楽部3年生、有終の美を飾る。～】

11月2日（土）・3日（日）は、『三春秋まつり』が三春中学校前の町駐車をメイン会場にして行われました。例年頼りにされているわが三春中学校吹奏楽部は今年も大活躍。秋まつりのオープニングを飾りました。町グラウンドには、わが吹奏楽部の演奏やお祭りの催しを楽しもうと車があふれんばかりに駐車されていました。おそろいのピンクのTシャツを身につけ、特設ステージに陣取った吹奏楽部は、顧問の指揮の下、演奏を披露しました。特に、3年生にとっては最後の大一番。これまでの部活動の総決算の時でもありました。実にすばらしい演奏となり、会場からは拍手喝采の嵐。演奏者にとっても、思い出に残る演奏となったことでしょう。



【楽しかった！～厚生委員会のみなさん、ありがとうございました。～】

11月10日（日）は、『三春中学校父母と教師の会レクリエーション』の日でした。当日は、フリスビーのドッチボールのような『ドッチビー』という競技で楽しみました。厚生委員長さんをはじめ委員のみなさんには、事前会議でその方法等について協議いただきますと共に、当日は、早朝よりお集まりいただき、本当にありがとうございました。4チームの総当たりで、なんと私は1年生Aチームに混ぜていただきました。うれしかったあ。人数が足りなかっただけでもありませんが、仲間に入れてくださりありがとうございました。とても楽しかったです。閉会式では、2年生チームにいつものクッキー金メダルが渡されました。大会後は、いつものように全体で記念写真を撮って楽しい時間を終えました。厚生委員会のスムーズな進行等のおかげで11時には大会を終えました。仲間に入れてくださりありがとうございました。楽しいひとときをありがとうございました。



【安全で、バランスよく、おいしい給食をありがとう！～校長室におむすびマンが届きました。～】

夜が長く、寒さが次第に増してくる季節となりました。1・2年生は次なる三春中学校の担い手

として、3年生はそれぞれの進路実現にむけて、時間を有効に使って勉強や諸活動に計画的にがんばる時期です。そんな諸活動を支えるものになるのはやはり『健康』です。そして、その健康をもたらしてくれるのは、バランスのよい『食事』です。先日は、校長室に、そのバランスのよい給食がおむすびマンと一緒にやってきました。インフルエンザもすでに流行しつつあります。寒さの冬をバランスのよい食事で、健康に乗り切りましょう。



【たくさんの方々に関われよい思い出です！～ふくしま駅伝を共に。～】



1月17日(日)に行われたふくしま駅伝に参加した子どもたちの心の中にすばらしい宝物を残してくれました。町内2つの中学校同士の関わり、監督・コーチ陣との関わり、お世話いただいた役場のみなさんとの関わり、練習にともに参加し、大会をともに戦った本校生徒からは、たくさんの方々のみなさんといろいろな関わりをもてたこと、苦しさや喜びを共有できたことがいちばんの思い出ですという意味の感想を聞くことができました。挑戦したからこそ抱き得た感想です。ともに戦ったからこそ得られた感想です。ふくしま駅伝を通して、この社会で人とともに生きていくうえでとても大切な宝物を勝ち得ることができました。すばらしい経験をプレゼントしていただき、ふくしま駅伝スタッフのみなさん、ありがとうございました。

【整った教室で今日も1日が始まる！～縦横整然と並んだ机といすが待っています。～】

毎週木曜日は校長解錠・施錠の日です。先生方をはじめ教頭先生も早く帰ってもらい鋭気を養ってもらう日と考えています。ある木曜日の放課後、校舎を閉めるため、最終確認で校舎を点検して回っていると、3階の教室から、「コトコト」という音が聞こえてきました。何の音だろうと懐中電灯で照らしてみると、主任の先生が各教室の机といすを縦横きっちりと並べているときの音でした。教室の電灯をつけ眺めてみると、縦も横も本当にきっちりと並んでいました。明日の朝はこんな整った教室で子どもたちを迎え、整った環境の中で気持ちよく子どもたちが学習し生活できるんだなあとなんだかうれしくなりました。あまり目につかない環境整備ですが、とても大切な『学びの環境づくり』だなあと、人知れず子どもたちの学びの環境づくりに取り組んでくれていた本校教職員の姿をととても心強く感じた瞬間でした。



【つながる食育推進事業！～『つながる食育』公開授業研究会を開催しました。～】

12月13日(金)に、本校において、文部科学省指定『つながる食育推進事業』公開授業研究会を開催し、県内各地より50名という多くの参観者のみなさんが三春中学校へおいでくださいました。生徒が『今』を、そして、『未来』に渡って『しあわせ』に過ごせるよう、『食べる力』『感謝の心』『郷土愛』を育むべく取り組んだ学習です。まずは、10:35～の公開授業。本校宗像教諭と齋藤栄養教諭のT・Tによる公開授業は、自分と自分の『食』に関する現状を『トリセツ』作成をとおして理解し、自分の将来の『その時』のために何が大切かについて学習する時間となりました。



【社会に認められる正しい判断と選択を！～臨時休業前の全校集会をもちました。～】



3月3日(火)の6校時目に、臨時休業前の全校集会を実施しました。校長からは、臨時休業は新型コロナウイルスの感染防止のために行うことをまず伝え、未知の新型コロナウイルスへ冷静に対応し、かつ、正しく恐れようという話も付け加えました。ご家族がお仕事等に出かけた際には、自分(たち)だけになる場面も出てくること、そんな中でこそ、三春中学校で学んだことを生かして、『社会に認められる形』での『正しい判断』と『正しい選択』をしよう続けました。人がいてもいなくてもそのような『正しい判断と選択』ができた三春中学校の生徒を誇りに思いますし、三春中学校のすべての生徒さんがそのような『正しい判断と選択』ができるよう、常に、『忠恕』『探究』『必達』の3つのめざす生徒像を『正しい判断と選択』のよりどころとして生活すれば、学校生活と同様に、充実した家庭生活を送ることができると信じていますと続けました。今度の臨時休業は、これまで子どもたちが、家庭で、そして、三春中学校で学んだことの発揮の場、子どもたちの真骨頂が発揮される時です。

以上が平成31年度・令和元年度の三春中学校の生徒が学んできた『歩み』と『学び』です。校長室で今年も7つの花芽をつけた胡蝶蘭同様、ご家庭のご理解・ご協力をいただきながら、子どもたちは繰り返し繰り返し、『共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに』、『命の輝き』を求めてきました。この学びを大切に心にとどめ、令和2年度も、それぞれの大切な命を輝かせながら、三春中学校を守り、発展させていってください。保護者のみなさんの変わらぬご理解・ご協力をお願いし、長い間お読みいただいた学校だよりを閉じます。ありがとうございました。

